



いまの勝 今井まさる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県政を改革 市民の声を生かします

市民憩いの手賀沼 浄化策を要望



■我孫子市特集■ 9月県議会一般質問

「市民の声を生かせる県政改革を」と今春の県議選・我孫子市選挙区で初当選した今井勝(いまい・まさる)県議は、当選させていただいた多くの市民の支持を力に「我孫子市民のための政治を県政で生かす」という姿勢を基本に活動しています。9月県議会で初登壇。「手賀沼の水質保全計画」をはじめ、「地域道路「新駅設置」などについて市民の生活視点で県側に要望・提案の質疑を行いました。1・2面で特集します。

初当選後、9月県議会一般質問に登壇した今井勝県議

沼を蘇らせるため へドロ口浚渫の継続を

今井 県議会選挙で我孫子市から選出されました自由民主党の今井勝です。県土の均衡ある発展と生まれ育ったふるさと我孫子の発展のために粉骨砕身努力をします。先陣議員、県当局、市民の皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

まで実施してきたへドロ口浚渫は平成8年度から17年度までの計画量65万立方メートルのうち、55万立方メートルが未実施となつています。

今年7月23日に我孫子市長をはじめ、手賀沼流域7市1村の首長らが、第5期湖沼水質保全計画の中に、へドロ口浚渫と下手賀沼の浄化対策を追加事業とすることを堂本知事に要請しています。

そこでお伺いします。手賀沼を蘇らせるためには、へドロ口の浚渫を継続することが必要であると考えますかどうか。

知事 第5期計画では湖岸付近、堆積が進んだ箇所を浚渫した土砂で湖岸にヨシなどの植生帯を整備して、水質浄化や自然再生を図ることにしました。

今後、土砂堆積箇所の浚渫は継続しますが、りん濃度の高いへドロ口の浚渫再開については、十分な調査を行った上で検討していきたい。

今井 沼から浚渫した土砂を利用する植生帯整備は、

手賀沼の環境にどのような効果が見込めるのか。

知事 ①波浪による沼底の土砂の巻きかえりを抑え、濁りやりんなどが水に溶け出すことの抑制②植物によるりんや窒素の吸収が進む③植物プランクトンの増殖を抑え、濁りやアオコの発生が抑制される④3つの効果があると思つています。

今井 手賀沼の植生帯整備は現在整備している地区以外にも拡大して実施する考えがあるかどうか。

県土整備部長 第5期湖沼水質保全計画で、沼北側の手賀大橋の上下流3キロにおいて整備を予定しています。整備地区拡大については第6期改革策策定時に検討する予定にしています。

要望 今井 下手賀沼についても本手賀沼同様に水質浄化対策に積極的に取り組まれるよう要望する。

今井まさる・PROFILE

□略歴□

- 昭和23年 我孫子市生まれ
- 昭和41年 柏日体高校卒
- 昭和43年 今井タクシー入社
- 平成11年 我孫子市議会議員
- 平成19年 県議会議員初当選

□現職□

- 県議会 総務常任委員会委員
- 自民党県連 広報委員会

県政や我孫子の
ご相談、ご意見を
聞かせてください

今井まさる 県議事務所

〒270-1138 我孫子市下ヶ戸1825
TEL.04-7181-7181
FAX.04-7181-7187

道路の早期整備や新駅を訴え

バイパスと湖北駅前整備

船橋我孫子線の大型規制強化を

今井 次に道路問題で我孫子都市計画道路3・5・15号線(通称国道356号我孫子バイパス)についてお伺いします。国道356号は、我孫子市内の市街地を東西に通過、片側一車線で右折車線も少なく道路幅員も狭くカーブも多いことから、すでに想定された交通容量を超えており、慢性的な交通渋滞を引き起こし、地域住民の日常生活に支障をきたし、通学時の児童や生徒をはじめ、歩行者の安全確保に問題が生じていることから、並行するバイパス整備が進められています。当路線は利根川に沿って印旛地域から東葛飾地域を結ぶ主要幹線道路でもあり、我孫子市の交通体系の中でも重要な位置づけをされ早期完成が望まれています。そこで伺います。国道356号我孫子バイパスの進捗状況と今後の見通しはどうか。



9月県議会一般質問。自席で再質問する今井勝県議

県土整備部長 我孫子市新々田地先から日秀新田地先に至る約4.8キロ区間の整備を進めています。相島地先約1.6キロは既に暫定2車線供用を図っており、続く布佐地先約0.6キロについて用地交渉や工事を進め、早期供用を目指します。

今井 我孫子都市計画道路3・4・8号線(湖北駅北口線)は、駅前広場整備事業とあわせた事業で我孫子市も事業負担のほか、2名の職員を派遣、10月からさらに1名増員し事業の促進を図ると聞いています。駅を中心に地域の人々が集い、物を商い、生活していくスペースを提供するのも行政の役目だと思います。そこで伺います。進捗状況と事業認可期間の延長についての対応を含めた今後の見通しはどうか。

県土整備部長 用地取得の進捗状況は、9月末で面積で約37%、地権者数で約43%。事業認可期間については、今年度末までとなっていることから期間の延長を国土交通省に年内にも協議するよう考えています。

今井 用地買収においては、土地開発公社による先行取得制度があるときいておられますので、この制度を利用するなどの方法により、事業進捗に努めるよう強く要望します。

JR成田線と新高速鉄道 交差部に新駅設置を要望



農業現場視察に参加 今井勝県議は10月5日に農業土地改良議員連盟の現地研修会に参加しました。国営かんがい排水事業両総地区の第3機場、公平水路

を回り、広域農道九十九里地区(北清水・大豆の集団転作)、県営渥水防除事業Ⅱ写真Ⅱを視察、みよがの水耕栽培や山武杉を見て知識を深めました。

と回ります。JR高崎線方面から武蔵野線を活用した成田空港アクセス列車や常磐線茨城方面からの成田線経由の空港アクセスなど検討の価値はあるのではないかと思います。

我孫子市をはじめ沿線10市町村で組織する「成田線複線化促進期成会」や県と沿線市町村で組織する「県JR線複線化等促進期成同盟」で乗り換え可能な新駅設置をJR東日本に要望してきました。

新駅設置は千葉県北部や埼玉県・茨城県などからの空港アクセスが飛躍的に向上することになり、広域的なネットワークの形成の観点からも望ましいと考えます。

そこで伺います。新駅設置について強く、JR東日本に働きかけていく必要があると思うがどうか。

総合企画部長 大変望ましいと考えています。そのため県はJR東日本本社等を訪問し要望活動を行ってきているところですが、引き続き粘り強く要望したいと考えています。

今井 市民の安全を守り静穏な環境で安眠できるよう、特に深夜早朝の時間帯の大型車通行禁止違反の取締りについて、更なる強化を検討していたらどうか要望します。

県土整備部長 全体延長約1.6キロのうち平成18年度までに約1.3キロを実施したところであり、今後舗装修繕に合わせ、計画的に整備してまいります。

今井 平成14年4月18日に成田国際空港の平行滑走路が供用開始され、国際線・国内線一日約80便を超える大幅な増便がなされました。今後、暫定滑走路の北進延長工事が完了し、2500メートルとなると、発着便もさらに増便が予想され、成田線(我孫子ー成田)は空港へのアクセスとしてますます重要な路線になると考えています。

一方、成田新高速鉄道と成田線の交差部に(仮称)成田ニュータウン北駅が

位置づけられています。この駅で乗り換えが可能となれば、県北西部の住民を中心とした空港アクセスが大幅に改善されることとなります。成田新高速鉄道の都心からの直通特急停車は難しいでしょうけど、ロカルの空港行き列車との接続の時刻設定など、乗客の視点に立った配慮をすれば、相応の需要は見込める

我孫子市特集 9月県議会一般質問

県政で尽力!!

ふるさとのために

今井まさるの県議

9月県議会自民党代表質問

財源不足が拡大、新税源も「検討」

9月定例県議会で最大会派の自民党代表質問に阿井伸也県議(山武郡選出、3期)が立、財政、医療、道路、農業、教育問題などを取り上げた。

阿井県議は「200億円にも拡大した財源不足をどうやって解消するのか」と質問。堂本暁子知事は「赤字団体転落への崖っぷちに立っている。県税の滞納整理や未利用県有地の売却などによる歳入確保を進め、あらゆる財源確保策を検討し、経費の節減に一層努めると答弁。新たな税源についても「幅広く検討する」と答えた。

医師確保策では、県独自の制度として私立大医学士への修学資金制度や後期臨床研修医への研修資金貸付制度などを創設したが、植田浩副知事は「当該事業で確保できた医師はまだ少ない」として事業内容を改善する考えを示した。